

2024 丹後ブランド産品

Tango Good Goods

を募集します!

- 審査日 / 6月25日(火)・26日(水)
- 全体講評・商品個別相談 / 6月26日(水) 午後4時から
- 認定決定 / 6月27日(木)

募集期間 5月9日(木) ▶ 6月9日(日)

丹後地域(宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町)の優れた地場産品をTango Good Goods(以下「TGG」という。)(丹後ブランド商品)に認定し、カタログなどで広くアピールし、「見本市」や各種「商談会」等を通じて、販路拡大や売れる商品づくりをサポートしています。現在、86業者、186点の商品が認定されています。

Tango Good Goodsに認定されると?

販路開拓をサポート!

- Tango Good Goods 認定カタログ掲載
認定品をカタログにしてバイヤー等に配布

● 販路開拓

- ▶ Tango Good Goods見本市
10月12日(土)・13日(日) 野田川わーくぱる
- ▶ 各種「商談会」を案内
- ▶ アミティ丹後店内での販売や
ふるさと納税への登録サポート

● 販促グッズの活用(有償)

- 認定品のぼり旗・TGG ロゴシール、
優秀産品シール



その中から選ばれた「優秀産品」はさらに全国レベルの「商談会」へ展示出展します!

京都丹後ブランド産品会に入会すると(年会費12,000円)

- 首都圏での委託販売サポート
(出張販売ができない事業者や首都圏での販路開拓を目指す方へ委託販売サポート)
- 地域外への販路開拓サポート
- 都市部での販売会開催(直販機会の創出)
- 「商談会」攻略セミナーの開催
商談会で成果を上げるためのノウハウを学ぶセミナーの開催
- コンシューマー向け「お中元・お歳暮カタログ」配布



応募資格

丹後地域内に本拠を置く製造業者である企業、個人、組合、団体及び任意グループなどが対象。ただし、応募対象商品の販売者は、推薦人(製造業者の承諾が必要)として応募することができます。

応募対象商品

丹後地域内で製造もしくは企画された商品で、次の分野に分けて募集します。

● 地域特産品部門

丹後独自の伝統等が伺えるなど丹後らしさ・海の京都らしさの表現に優れ、観光客等に推奨できる商品。

● 一般流通商品部門

地域特産品部門に該当しない商品。Made in Tangoとして一般流通可能な商品で丹後地域のものづくりを牽引する商品。
※美術品のような一品ものではなく、反復生産が可能なものに限定。

(1) 応募方法

応募票(アミティ丹後のWebからダウンロード)に必要事項を記入し、審査手数料(応募1件につき1,500円)と以下の必要資料等を当センター(アミティ丹後)までお届けください。(期限6月9日(日)まで)

- ▶ 掲載情報資料や写真素材(バイヤー等に提供するための企業・商品紹介のカタログ及びホームページを作成)
- ▶ 食品製造許可証(写)、所定の製造食品仕様書及び原材料調査表
- ▶ 搬入日に搬入が困難なものについては、商品の写真、仕様書、説明書等(必要に応じ現地審査)

(2) 応募商品の搬入搬出

- ▶ 応募商品の見本は、6月21日(金)17時までに(食品については試食分を添えて、6月25日(火)午前中)に当センター(アミティ丹後)に搬入してください。なお、返却を必要とする商品については、あらかじめ申し出てください。
- ▶ 商品の現物で審査を行いますので、期日までに見本商品が搬入されない場合、応募がなかったものとなります。また、見本商品の搬出は、7月1日(月)9時~12時をお願いします(搬入出等の費用は、応募者で負担)となります。

(3) 審査講評(個別相談)と認定決定

- ▶ 審査講評(個別相談)
審査員による講評及び商品改良指導(個別相談)を6月26日(水)午後4時から行いますのでご聴講願います。また、商品改良等のポイントについて個別にご相談ください。
- ▶ 認定結果
認定は、6月27日(木)の審査会で最終決定します。なお、認定品については、6月28日(金)に「2024 Tango Good Goods認定品カタログ」掲載用写真の撮影を行います。

優秀産品表彰

認定品の中で特に優秀で認定事業の推進並びに地場産業の活性化に寄与し、丹後のものづくりの模範となると認められるものを「2024TGG優秀産品」として選定し「TGG見本市」で表彰します。

募集要項

申し込み
問合せ先

公益財団法人 丹後地域地場産業振興センター(アミティ丹後)事務局

京丹後市網野町網野367番地

TEL.0772-72-5261 / FAX.0772-72-5262

Tango Good Goods ホームページ <https://amitytango.jp>

E-mail info@tango.jibasan.jp



令和5年度 Tango Good Goods 認定事業の取組み紹介

令和5年度には、Tango Good Goods「優秀産品」認定事業者の中から首都圏のバイヤーが選定した商品の品質向上と販路開拓に取り組みました。

具体的には、東京での販売店を巡る視察会やテスト販売、意見交換を通じてバイヤーとともに商品をブラッシュアップし、その上での販路開拓を展開していきました。

6年度事業に生かすため、参加事業者様に感想等を聞きました。

Q 東京での視察会から得た印象を教えてください。具体的な影響や学んだことは何でしょうか？



京丹後せんべい
ウミノ食品

東京の視察では、首都圏特有の多様なビジネス環境を目の当たりにし、顧客の多様性と市場の変化への迅速な対応がいかに重要かを痛感しました。



甘いも天
天富

バイヤーとの直接的な対話が新鮮で、市場のニーズを直接感じ取ることができました。商品の展示方法や価格設定、パッケージの形態など、どうすれば良いか具体的なイメージが湧きました。特にパッケージングの重要性を強く感じました。



乾燥野菜
(株)田園紳士

いろいろな店舗を巡りながら、どの商品が売れているのかを学べたのが、今後の商品開発にとって大変参考になりました。実際に競合する商品を見ることができ、自社商品の改善点を知る良い機会になりました。

Q 継続取引について教えてください。

商談会への出展斡旋などもあり、新規の取引先が2~3社できました。規模が大きすぎる商談などもあり、対応できずに断らざるを得ない案件もあり、製造能力も大きな課題だと感じています。(共通)

Q 今後取り入れてほしいサービスやサポートについてお聞かせください。

デジタルマーケティングの強化、顧客ニーズのマッチング、消費者の意見を直接聞けるイベントの増加など、効率的な販路開拓のサポートがあれば良いと感じています。(共通)

Q バイヤーとのZoomミーティングや商談形式のプレゼンテーションを行いました。そこから得た学びはありましたか？



京丹後せんべい
ウミノ食品

バイヤーと直接話をする中で、バイヤーのニーズや要望を深く理解できました。また、グループでの議論やプレゼンを通じてコミュニケーションスキルが大きく向上しました。



甘いも天
天富

バイヤーの意見を聞きながら適正な容量や価格の調整ができたこととデザインの相談が出来たところが一番良かったです。今回の事業を通じて短時間でレベルアップができたし、販売戦略の方向性が明確になりました。



乾燥野菜
(株)田園紳士

全国のさまざまな加工品を見てきているバイヤーから直接差別化できている点や改善点を聞くことができ、今の商品をベースとしつつお客様の手の届きやすい商品をつくるための足がかりができました。

Q 東京でのテスト販売を実施してみた成果や課題と今後の取組みや改善点について、具体的にお聞かせください？



京丹後せんべい
ウミノ食品

ターゲット市場や顧客ニーズの調査の重要性を感じました。今後はもっとリサーチを行い、顧客の声を聞いて商品づくりをしたいと感じました。また、競合他社との差別化や独自性のアプローチ、価値提案などの重要性を肌で感じたので、今後はそれを生かした商品づくりをしていきたいと思っています。



乾燥野菜
(株)田園紳士

乾燥野菜だけでは販売することは難しいため、さまざまな商品とのタイアップなど、今後は販売方法の改善を検討してまいります。お客様が手に取りやすい工夫をするなど、今回の経験を生かして商品の改良をする予定です。



甘いも天
天富

パッケージング形態を変更して都市仕様での販売まで商品づくりができたことが大きかったです。販売先が増えたので、製造能力の向上とラベル貼りの効率化等も考えていかないとはいけません。

令和6年度 Tango Good Goods 認定事業「審査員」の紹介

まとはや たけよし
的早 剛由 氏

(主な審査担当部門 食品表示)
マトハヤ・フーズコンタクト(株)
代表取締役

旧農林省入省
元独立行政法人農林水産消費技術センター職員
法令制度テクニカルアドバイザー
日本食品衛生協会HACCP推進アドバイザー
外食産業原産地表示アドバイザー
米国食品営業施設衛生管理資格(小売店)
食品表示検定協会認定講師

ナカジマ ミカ 氏

(主な審査担当部門
デザイン、ブランディング)
Design*Magica 代表

京都市立芸術大学プロダクトデザイン科卒
元シャープ(株)の家電デザイン担当(商品・パッケージ・ロゴデザインなど)
Design*Magicaの創設者
デザイナー兼ディレクター
グッドデザイン賞審査委員、「あたらしきもの京都」プロジェクト参画デザイナー

おぼた よういち
小畑 陽一 氏

(主な審査担当部門 マーケティング)
(公財)京都産業21
登録経営戦略マーケティング専門家

元通信販売の(株)ニッセン職員
(マーケティング業務等30年担当)
府内の食品関連中小企業約100社
伴走支援
(一社)京都府農業会議輸出担当
コーディネーター
京都食ビジネスプラットフォーム事業
コーディネーター(商品開発・販路開拓)
JFSマスター登録専門家(HACCP
対策)

もとやま よしゆき
本山 喜之 氏

(バイヤー審査員)
(株)ピオスタイルEAT(マーケット)営業部
店舗開発部マネージャー

1階MARKET(京都市・河原町)
仕入担当兼商品開発シニアマネージャー
複合商業施設「GOOD NATURE STATION」
地域の未使用資源を活用した商品
開発
安心・安全な食品を消費者が気軽に
楽しめる販売ルートや店舗設計指導
対策